施策評価シート

令和　5　年度

総合計画	分野	4	第４章	恵まれた自然と共生し、人と地球にやさしいまち	施策統括課	緑化推進課
	施策No.	4	施策名	都市のみどりと美しい景観の創出	課長名（施策統括責任者）	豊田　幸孝
	関係課		緑化推進課　建築指導課　北部建設事務所　南部建設事務所			

1．施策の目標

めざす姿（成果目標）	地域の自然、歴史、文化と人々の営みが調和し、快適なみどり空間と調和して美しい景観が形成されている。
取組方針	快適なみどり空間の創出に向けて、市民との協働により、緑化活動を促進します。公園については、安心して利用できるよう適切な維持管理に努めるとともに、整備に当たっては、市民ニーズや地域性を踏まえ、明るく開放的で防犯や防災にも配慮した整備に取り組みます。景観形成については、特色ある景観資源の適切な保全と創出を図るとともに、周辺の景観と調和した適正な規制誘導を行います。緑化や景観形成については、条例等に基づく指導や誘導だけでは難しいことから、市民ボランティアとの協働等、市民と一体となった取組を進めます。

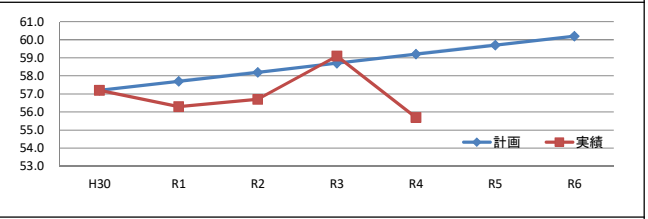
2．施策の意図と成果指標

対象（誰、何を対象としているのか）＊人や自然資源等	市民
意図（この施策によって対象をどう変えるのか）	地域の自然、歴史、文化によって形成された快適なみどり空間と美しい景観を守り、創り、育てる。

成果指標 A

成果指標 A	単位
市街地のみどりが増えて景観がよくなったと感じる市民の割合	%

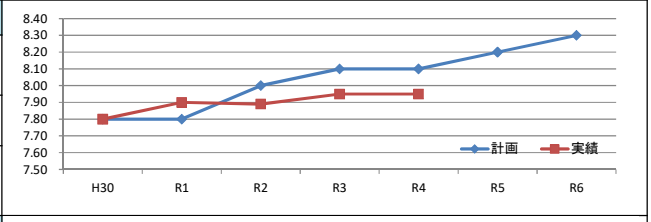
H30 基準	R1 計画	R1 実績	R2 計画	R2 実績	R3 計画	R3 実績	R4 計画	R4 実績	R5 計画	R5 実績	R6 目標
57.2	57.7	56.3	58.2	56.7	58.7	59.1	59.2	55.7	59.7	0.0	60.2



成果指標 B

成果指標 B	単位
市民1人当たりの都市公園面積	㎡

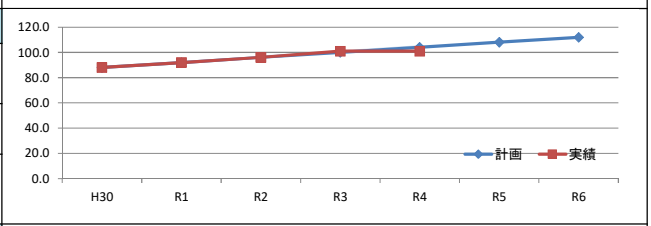
H30 基準	R1 計画	R1 実績	R2 計画	R2 実績	R3 計画	R3 実績	R4 計画	R4 実績	R5 計画	R5 実績	R6 目標
7.80	7.80	7.90	8.00	7.89	8.10	7.95	8.10	7.95	8.20	0.00	8.30



成果指標 C

成果指標 C	単位
景観賞表彰件数	件

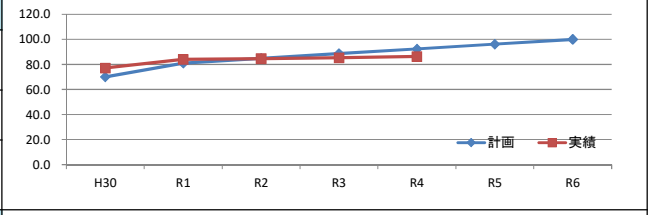
H30 基準	R1 計画	R1 実績	R2 計画	R2 実績	R3 計画	R3 実績	R4 計画	R4 実績	R5 計画	R5 実績	R6 目標
88.0	92.0	92.0	96.0	96.0	100.0	101.0	104.0	101.0	108.0	0.0	112.0



成果指標 D

成果指標 D	単位
屋外広告物許可割合	%

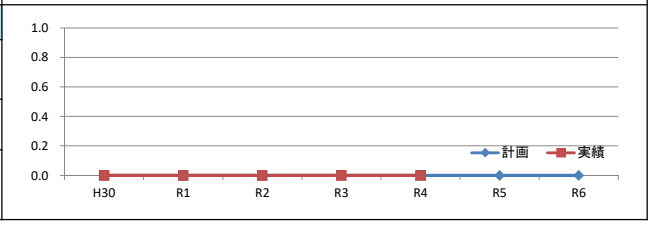
H30 基準	R1 計画	R1 実績	R2 計画	R2 実績	R3 計画	R3 実績	R4 計画	R4 実績	R5 計画	R5 実績	R6 目標
77.1	81.0	84.0	84.8	84.7	88.6	85.3	92.4	86.3	96.2	0.0	100.0



成果指標 E

成果指標 E	単位
-	-

H30 基準	R1 計画	R1 実績	R2 計画	R2 実績	R3 計画	R3 実績	R4 計画	R4 実績	R5 計画	R5 実績	R6 目標
0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0



施策評価シート

3．市民意向調査結果

施策の重要度	前回	今回	
重要である	37.1%	35.8%	↓
ある程度重要である	48.1%	48.2%	↑
あまり重要ではない	6.6%	7.4%	↑
重要ではない	1.1%	1.3%	↑
順位	27/36位	28/36位	↓

施策の満足度	前回	今回	
満足している	5.8%	7.3%	↑
どちらかといえば満足	56.6%	54.1%	↓
どちらかといえば不満	18.7%	20.3%	↑
不満である	4.3%	2.8%	↓
順位	3/36位	2/36位	↑

4．社会潮流等の変化について（第2次総合計画策定時からの市民ニーズの環境の変化、法整備状況等）

・都市における景観や環境面、さらには防災の観点から、緑化推進や公園整備の重要性は変わらない。
・緑化推進については、その重点が、植樹から育樹へと変わってきている。花づくりボランティア団体の高齢化が進み維持管理が難しい団体もある。
・公園利用の多様化が進み、営利や非営利活動の利用など判断や、スケートボードやボールが伴う苦情も多数出てきている。
・景観に関しては、概ね良好と考えているが、引き続き景観が悪化しないように事業等を推進する。

5．施策を推進していく上での新たな課題、新たな視点

・緑化推進については、育樹へと重点を移し、良好な景観形成に寄与するみどりを育成するため、維持管理分野を含めた、市民等との協働を推進する必要がある。
・市民一人当たりの都市公園面積は、国が目標とする10㎡を下回っているため、都市公園の整備を適切に推進する必要がある。
・景観賞募集作品が旧佐賀市に集中しており、旧町村に所在する作品の応募が少ない。また、建物に集中している。
・未申請のまま設置している屋外広告物について、十分な把握が出来ていない。

6．施策の課題解決に向けた今後の取組の方向性・内容等

・市民や団体等との協働により、維持管理を含めた緑化活動を推進する。
・公園の整備に当たっては、景観面、環境面に加え防災面においても効果が見込める整備に取り組む。
・景観賞の対象（建物・樹木やみどり・自然風景・看板・地域での取り組み）や所在地を広い範囲で応募できることを周知する。
・屋外広告物の設置状況を把握するた全体的な実態調査が必要。また、訪問指導を行うことにより適切な管理に努める。